



## 【会議の経過】

### 1 開会

教育長あいさつ

### 2 議事

#### (1) 学校運営委員会での協議内容について

(委員長)

それでは、学校運営委員会での協議内容について、学校運営委員会代表から説明をお願い致します。

(委員)

校訓、校歌、校章の協議内容についてご説明させていただきます。まず、校訓ですが、前回の開校準備委員会で御意見をいただき、立志・協同・剛健となりましたので、割愛させて頂きたいと思います。

次に、校歌です。現在の東条東小学校、東条西小学校の作詞者坂本遼氏のご子息である坂本章さんに作詞を、東条東小学校、東条西小学校、東条中学校の作曲者井澤文太郎さんの御子息である井澤潔さんに作曲を依頼するということになり、快くお二人ともお引き受け頂きました。現在の校歌がそうであったように東条地域にゆかりのあるお二人の手で作詞作曲をして頂くことで、東条学園の校歌も東条地域の皆様に愛され、親しみを持って頂けるような校歌になることと思います。

次に、校章です。現在、12月20日を締め切りとして、市内在住の方を対象に募集を行っています。また、東条地域3校の児童・生徒にも募集チラシを配布し、応募を呼びかけています。広報、ケーブルテレビ、ホームページで周知を図っていますが、開校準備委員会の委員の皆さんも含め、多くの方に応募をして頂ければと思っていますので、期限までにお声かけを宜しくお願いしたいと思います。

(委員長)

何か御意見等、質問等ございましたら宜しくお願いしたいと思います。

〔異議なし〕

(委員長)

次、制服につきまして、宜しくお願いします。

(委員)

次に、制服等についてです。制服については東条地域三校PTA役員と校長先生方で構成しています標準服等検討部会で幾度となく協議して頂きました。これまでのように男子用、女子用という区別なく、ズボンタイプ、スカートタイプのどちらでも選択でき、女子でもスラックスを選択頂けます。また、動きやすさを考慮し、ハーフタイプのズボンを用意していますので、学年に応じて選択できるようにしています。かばんについても統一のものを採用します。原則、1年生から6年生まではこれまで通りランドセルも使用できますが、希望があれば購入できるようになっています。インナーにつきましては、5、6年生がポロシャツ、8、9年生がカッターシャツを着用していますが、夏場はポロシャツを着用も可能にするなど、幅を持たせて柔軟な対応とします。なお、制服の着用は5年生からとなりますが、来年度の新中学生から購入します。今後の購入スケジュールについては3ページに書いてあるとおりになります。開校時は5年生からの着用を考えています。

以上です。

(委員長)

これらについての御意見、御質問等ございましたら、宜しくお願ひしたいと思ひます。制服の案件、この方向で進めさせて頂いて宜しいですね。

[異議なし]

## (2) 東条地域小中一貫校開校スケジュールについて

(委員長)

次に、2の東条地域小中一貫校開校スケジュールについて、事務局の方から説明をお願ひ致します。

(事務局)

開校スケジュールにつきまして、前回の開校準備委員会で令和3年4月開校の案の1、令和4年4月開校の案の2、この2つを御提示をさせて頂きました。案1につきましては、校舎が完成しておりませんので、東条東小学校の校舎と東条中学校の校舎を利用する。案2につきましては、校舎が完成した後に令和4年4月に開校を目指すということで、2つのスケジュールをご説明させて頂きました。

その後も、開校時の子どもたちの保護者であります現在の小学校の保護者の方を中心に説明それからご意見を頂戴していく中で、加東市は義務教育9年間で4年、3年、2年という3つのステージに分ける4・3・2制を考えていくということであるので、より小中一貫教育のことを考えるなら、具体的に3つの案ということで御説明をさせて頂いております。

令和3年4月の開校を目指す案としまして、案の1のA、それから案の1のBという2つの案がございます。1のAという案につきましては、東条東小学校の校舎に現在の東小と西小の児童1年生から6年生までが入り、7年生から9年生、現在の東条中学校の生徒ですけれども、こちらが東条中学校の校舎を使って教育活動を行うという案です。案の1のBにつきましては、1年生から4年生までの第1ステージの子どもたちが東小学校の校舎を利用し、5年生から9年生までが東条中学校の校舎を利用するという案です。この2つの案につきましては、いずれも令和3年4月の開校を目指しております。案の2ということで、こちらは新校舎が完成した後に、令和4年4月の開校ということで、もともとありました案2から変わりはございません。

それぞれにいい面、御心配な面、表にまとめております。案の1のAですと、効果等としまして、少人数等の課題の早期解消も図れるということも考えております。ただし、校舎が2つに分かれ、ステージの中でも分かれてしまいますので、第2ステージ内での交流は少し行いにくいのかなという心配も頂いております。1のBですけれども、1つのステージが東小学校の中に入っておりますので、ステージごとの小中一貫教育が行いやすいという利点があるかと思ひますけれども、1つの学校で4年生までが生活することになりますので、そういったことへの不安、こういうふうな御心配も頂いております。それから、案2ですけれども、当初から1つの校舎内で教育活動を行えるという利点はございますけれども、小学校同士の連携の負担が少し伸びるというようなことも心配の声として上げさせて頂いております。

ここまで保護者の方を中心に御説明をしてきましたけれども、これから教育委員会としまして、開校スケジュールを決めていく中で、是非とも開校準備委員会の皆様の御意見も頂戴しながら考えさせて頂きたいという風に思ひますので、是非とも忌憚ない御意見をいただきたいと思ひます。どうぞ宜しくお願ひ致します。

(委員長)

只今説明がありました開校スケジュールに関しまして御意見等、質問等ございましたら、よろしくお願ひします。

(委員)

案1のBなんですけど、5年生から東条中学校のほうに行くんですが、東条中学校のキャパシティーって足りてるんでしょうか。

(事務局)

教室としては入れる教室はあるんですけども、数学の授業とかで2つのクラスに分けて、少人数の良さを生かしながら少人数授業といったこともやっておりますので、そういったことをしていく中で、少し余裕がなくなったりすることはありますけども、教室自体は足りてるというような状況でございます。

(委員)

専門教室なんかは足りるんですか。理科とか音楽とか。

(事務局)

時間割りのやりくりにも関係するかなと思うんですけども、中学校の校舎に入っても教育活動できるという風に考えております。

(委員)

プールは大丈夫ですかね。

(事務局)

例えばまだ決定ではございませんけれども、底に引くような板とか使える範囲を限定して、その部分を使いながらというように、子どもたちの安全には十分、目を配りながらやっていきたいと考えてます。

(委員長)

他に何でも結構ですんで、ご意見を頂戴したいと思ひますので、よろしくお願ひ致します。

(委員)

僕は、1年生から6年生の子ども集団が、学校の中で一緒になって教育活動をしていく意味みたいなものがきちっとわかってない。1のBという案で、1年生から4年生が1つの集団をつくって、集団運営をしていくということが本当に可能なのかどうか。6年生がいるという、年長者の動きみたいなものを見ながら育てていくみたいなこともあるでしょうし、やっぱり4年生がその集団のリーダーとしてやるというのは、今の子どもの成長が早いとは言ひながら、何か若干無理があるのではないかなみたいな気がするんで、僕は新しい学校をつくるときに、子どもたちの日々の教育活動、集団活動がどこにあるのかということは物すごく大事にしてほしいという気がするんですよね。実際に学校、子どもたちに関わっておられる、教育活動を支えておられる人材がご覧になったときに、1年生から4年生だけを別に置いて集団教育をやろうということがありえるかなみたいな気がするんですけど。

従って1のA案ないし2案の比較ということになるのではないかなあという気がするんです。そうしますと、課題として持っときたいのは西小学校の子どもの数、そうすると集団教育の集団学習の意味をもう少し持たすとしても、もう少し大きなかたまりが出来てきたほうがいいのではないかというふうにと考えると、小中一貫校をつくらうという意図にも、そのことは大事であるやということですね、余りにも子どもたちが少ないところを踏まえてでしょうから。

それが本当に正しいかわかりませんが、何か1A案ということにならざるを得んのかなというのを感じます。私も日々の子どもの生活見てる人間ではないですから、やっぱりこの辺は、日々子どもたちにかかわっておられる先生方、専門家の

方がどう判断をされるかということをお考えになったほうが、もっとも相応しいのではないかなど。僕らは関心はあるんやけど、実態が分からへんのと、子どもたちの環境というのはどういう環境が望ましいのか。教育活動をどう構築するかということをもっと大切にしておいて欲しいなど。この小中一貫校をつかって、ここでどんな教育活動をしようと思えるのか。その理念に一番近い形というのは、当然のこととして2案という話になるんでしょうけど、そうなるという問題もあって、結局時期とかの問題もあるとすれば、次善の策として案1のAかなあという、素人はそう思います。

(委員長)

校舎ができたときは全部一緒になるんですけども、まず一貫校に変えるためには、どういう風にすべきかということですね、子どもたちから見たら4年生は6年生や5年生がいないということを中心に思うだろうし。逆に4年生の成長を祈ってるというような、こういうこともあるんですけども。

(委員)

学校スケジュール1案、2案で校長先生でね、中学校に1人、小学校に1人の形になるんですかね。

(委員長)

義務教育学校なんで1人です。

(委員)

1案で行ったら学校が分かれるから校長先生は2人。

(委員長)

一貫校が始まるようになったらその時はもう義務教育学校ですので、校舎が分かれてようが1人です。

(委員)

西小学校の保護者の意見なんですけども最終的には案1A、案1Bのどちらかということで。もう、このA案、B案に関しては、次の判断は教育委員会と学校の先生方のほうに委ねるという形で落ち着きました。東小学校との協議もあったですね、西小学校の意見をくみ取って頂くような話になったような。意見ではなく、状況説明です。

(委員)

案1AとBというのは、そもそも学校の建設が1年遅れたことによって出てきた案で、当初そんなものは出てくる必要もなかった。そこを考えるのであれば施設が全部整った上での案2というのが一番きれいな形やないかなというふうに私思います。案1のBですが、やはり通学というのは6年生が登校班を引っ張って行ってこそ安全というのが前提だと思います。案1のBについては心配するところがあります。

(委員)

学校の立場というか、東小学校のPTAも今日来られてないので代弁します。最初には2案が多かったんです。ただ、西小学校の現状も踏まえて、1A案というのが一番多くありました。1B案については、6年生がいてそれでもいろいろと課題はあるんですけども、その中で4年が一番上になるのは心配になってくるという話になりました。

(委員)

職員の話をしていただきます。まず、4・3・2というのは、義務教育学校がいいということでスタートしようということでした。私たちが勉強を繰り返して、先進校を見に行っているうちにやっぱり今までの6・3制ではなくて、4・3・2制がいいと思うようになりました。4・3・2を始めるなら案の1のBで東条西

小学校はいきたいと思っています。

来年度は2・3年生複式、4・5年生も複式、2年生・3年生は授業日数が違います。4・5年生も授業日数が違います。ですが、一人の担任になります。

令和3年の4月にしたいということ、と同時に新しい学校をつくるという意味で、東条東に全員が行くのではなくて、新しい学校でスタートさせたい。

4年生が不安であるというのは、そう思われていると思うし、ただ私たちは今年の4年生がリーダーになるような学校行事を行い、リーダーとなっても大丈夫なように育てていきたいと考えていますし、9月から全部ノーチャイムにしています。45分・50分の授業が一緒になっても大丈夫というようなことで、本当に早く一緒になりたいなという思いで、子どもたちも私たちも願っています。

(委員長)

学校またPTA等で検討をしていただいて、また意見交換していただきました結果、西小はB案ですか。

(委員)

東条西はB案です。

(委員)

学校関係以外の方、また学校側からも回答をいただきました。開校準備委員会としては実際に子どもたちを指導していただいております小学校、中学校の先生方に委ねるという感じでよろしいでしょうか。

[異議なし]

今までの質問に対する御意見、または報告等を聞きまして、当委員会としましては、3年の開校で出したいと思います。異議はございませんね。

[異議なし]

### 3 事務連絡

### 4 閉 会

#### 【資料名】

資料1-1 校訓、校歌、校章、制服等について

資料1-2 東条地域小中一貫校開校スケジュールについて

別紙 加東市東条地域小中一貫校 校章デザイン募集要項

令和元年12月18日